



「稚心ちしんを去るさ」

校長 嶋田 一郎

9月に入り、台風が2度も九州に来た。地球温暖化のためか、非常に大きな台風になってきているように感じる。また、3年生は、就職試験も始まり、慌ただしい9月である。

進路が決まると、卒業までの間に社会人になる準備がいる。そこで、この時期に「稚心ちしんを去るさ」という言葉を考えてみたい。この言葉は、幕末の蘭学者「橋本佐内」という人が15歳の時に、自分の決意を促すために書いた「啓発録」という本の中に書かれている言葉である。橋本佐内は、この「啓発録」の中で、5項目の誓いを立てている。その中の1つに、「稚心ちしんを去るさ」という言葉がある。これは、幼稚な心、甘えた心、わがままな心と決別するという意味である。

まだ、皆さんは稚心ちしんが残っているのではないだろうか。皆さんは、社会に出て自分を戒め、向上心をもって日々暮らしていけるだろうか。稚心ちしんを捨てて、初代理事長田中嵩先生の「今日の自分よりも、明日の自分は進歩したい」という思いを心に刻み込んでもらいたい。

これからの時期は、皆さんの将来を方向づける極めて大切な時期である。どうか、大きな志を持ち、社会にはばたく準備をして欲しい。

「創立者を偲ぶ会」を開催

台風接近により、命日である9月5日(月)が自宅学習となったため、翌日、6日(火)に、本校創立者 故 田中 嵩先生に思いを寄せた「創立者を偲ぶ会」が執り行われました。

今年は、本校県内就職推進員として勤務されている宮寄 正文氏(第1回卒業生)から、在学中の田中 嵩先生の人物像や思い出など、様々なお話を聞くことが出来ました。

3学年については、これからの就職・進学戦線への取り組みについて励ましの言葉。1・2学年については、これからの自分たちの将来像を考えながら学校生活を送っていくことなど、生徒たちへ貴重なアドバイスをいただきました。



「第2回就職・進学合宿」で進路決定への総仕上げ

9月6日(火)、「第2回就職・進学合宿」を開催しました。就職希望者に対しては、県内企業の人事担当者をはじめ、10名の講師の方。進学希望者に対しては、大学や専門学校それぞれの班に4名の講師の方に来校していただき、面接指導、志望動機等の総仕上げの直前指導を行いました。1回目よりも向上している生徒がほとんどでしたが、気を抜くことなく本番に臨ませたいと思います。



平成28年度「就職・進学激励会」を開催

朝夕はしのぎやすい時期になりました。3年生では9月16日(水)から、いよいよ就職試験が開始されました。今年は全国的にも高校生の求人数が増え、本校でも昨年度よりも約50社増の600社を超える企業から求人をいただいております。

さて、本校では、学校紹介による就職希望者が72名で、今年も県内希望者がやや多い状況です。就職試験に先立ちまして、9月14日(水)には「進路激励会」を行いました。校長先生をはじめ、育友会会長、在校生代表の生徒から激励の言葉をいただきました。それに対し生徒会の青野会長が、力強い決意の言葉を述べました。「進路は自分ごと」です。しっかりした自覚と決意を持って試験に臨み、必ず合格を勝ち取って欲しいと思います。進学者も含め「チーム佐実」で頑張ろう。



第3回定期考査に向けて学習に力を入れよう!

9月29日(木)で前期が終了します。10月4日(火)まで秋季休業となりますが、3年生の皆さんは、自己実現のため就職試験に臨んでいます。自分が希望する企業に採用していただけるよう、ベストを尽くしてください。

また、10月9日(日)には体育祭も控えており、現在、行進や集団演技等の練習、各ブロックの応援やパネルの準備等、慌ただしい毎日を送っています。

体育祭が終わると、次は文化祭、部活動の各新人戦等、があります。更に、10月24日(月)からは、「第3回定期考査」も始まります。特に1・2年生はこれまでの学業成績を振り返り、前回よりステップアップできるように、授業はもちろん、家庭学習にも力を注いでください。皆さんの成長した姿に期待しています。